

令和元年度厚木保健福祉事務所 地域包括ケア・在宅医療推進会議 結果概要

1 日時 令和2年1月30日(木) 15:15～17:00

2 概要

(1) 居宅療養管理指導について

- 厚木保健福祉事務所管内の居宅療養管理指導の令和元年4月～9月のサービス給付実績について説明。
 病院、診療所 47事業所 4,923件、歯科医院 21事業所 2,727件
 薬局 74事業所 4,242件
- 在宅訪問している薬剤師と栄養士から居宅療養管理指導の現状と更に居宅療養管理指導を推進するために課題を報告。
- 地域に訪問医が少なく在宅が普及していないと感じている。訪問看護師やヘルパーが薬を管理するケースが多いが、薬剤師の方が習熟しているので、多職種がその役割に専念できるよう、薬局の取組みの周知が必要。
- 対応する方のうち2割がターミナルの方で、麻薬の点滴のローテーション等を行うが、人材育成が課題で、ターミナルの方が増えると赤字体質になってしまう。
- 最近、個人の在宅訪問が増えている。100件を超える訪問先を抱えている薬局もある。人員・労力を要し、経営が厳しく、疲弊してしまう。
- 薬局の管理栄養士は、居宅療養管理指導の算定ができなくなってしまったが、管理栄養士が対応できる事業所のマップ等があった方がよい。

(2) 入院時情報提供書の様式（県央地区推奨様式）について

- 入院時情報提供書の県央地区推奨様式について、検討の経過を説明し、様式案に対する意見を聴取。
- 様式の項目に関しては入院前の状況を病院に伝えることで、退院時に、どこまで回復し、本人や家族の意向も含め、自宅に戻れるのか、施設に入るのかの判断材料になるとよいと考えている。（ケアマネ協会の委員）
- 退院時の支援に活用するためには、入院前、入院中、退院時にどのように変わったかを把握する必要があり、入院前の情報が必要である。（病院の委員）
- 終末期は意思確認が困難であり、ACPの情報があるとよい。タイムリーに提供されるかや、ケアマネの力量による記載内容の差も実際には生じる。（病院の委員）
- 必要な様式であり、まず、始めること。その上で、定期的に病院へのアンケート調査等により見直しを実施して、運用していくことが重要。（医師会の委員）

(3) 厚木保健福祉事務所の取組みについて

① 訪問歯科診療・口腔ケア推進の取組み

- 在宅療養者の訪問口腔ケア推進事業は29年度より実施
- 口腔ケア推進は、療養者の歯科疾患予防のみならず、誤嚥性肺炎や気道感染の予防、低栄養の阻止等、疾患の重症化予防、QOLの向上に重要。
- 平成29年度は現状を把握するため、ケアマネジャーや歯科診療所に対する「訪問歯科診療・口腔ケア調査」を実施。その結果
 - ・ケアマネの口腔に関する知識やアセスメントに個人差がある
 - ・住民の口腔ケアに関心が低い

- ・ 主治医から訪問歯科診療・口腔ケアを勧めるケースが少ない
- ・ 歯科衛生士の人材不足、等の課題が見えた。
- 課題の対策として、29年度は歯科衛生士の人材育成のための研修会を2回開催。
- 平成30年度は、ケアマネジャー向け研修会の開催。住民の歯科保健への意識の向上、ケアマネジャーのアセスメント視点の習得を目指したリーフレットを作成。
- 令和元年度は、ケアマネジャーを対象として、作成したリーフレットの活用についての研修会を開催。
- 今後は、主治医をはじめとした、在宅療養者に関わる関係者によるリーフレット活用を普及することや、住民へのリーフレット普及が課題（医師会より）
- 関心がない医師もいるので、研修会をしていただけるとよい。
- 在宅口腔ケアは、どこに資源があるのか、また、紹介した後の流れが分かるとよい。

② 介護施設における看取り研修

- 平成30年度、管内の看取り未実施施設で研修を希望する5施設（有料2、GH3）に、既に看取りを実施している施設の職員を講師とした交流研修会を実施。
- 令和元年度に上記交流研修会の追跡アンケートを実施。
 - ・ 1施設（有料）で、令和元年5月から看取り介護が開始された（実績2名）。
 - ・ 2施設が、看取り介護について職員間で話し合うことが多くなったと回答。
- 令和元年度、新たに研修を希望する2施設で交流研修会を継続実施。「施設では、全ての希望者に対応する必要はなく、対応できる方にできることを提供すれば良い、と言われてホッとした」という感想があり、看取りの実際を知ってもらえた。

③ シニアの食事アンケート

- 「フレイル」をキーワードとした「食事摂取状況調査」を実施。
- フレイルには、身体的フレイル、社会的フレイル、心理的フレイルなど様々な要因が絡み合っている。そのうちの身体的フレイルを予防する上で低栄養対策は重要。
- 低栄養に陥る一因として「偏った食事内容」が続くことが考えられることから、地域高齢者の食事の偏りについて現状を把握する。
- ①摂取しにくい食品は何か、②食事内容が偏ってしまう要因は何かを把握するため、7カ所のスーパーで65歳以上の高齢者に聞き取り調査を実施（511名）。
- 今後、偏った食事の内容・要因を分析し、課題への対応策を検討。

④ 精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築（管内精神科病院の65歳以上の長期入院患者調査）

- 管内精神科病院に1年以上入院している65歳以上の患者の状況を調査（142名）。
- 認知症が主症状ではなく、もともとの精神疾患が長期入院に影響している。
- 病状が安定し、医学的判断で退院の検討が可能な人が3割いるが、帰住先の問題や協力者不在から地域移行に結び付いていない。
- 5割の方が要介護認定が不明・未申請で、介護度が低く、ヒアリングによれば単身生活は難しいが、帰住先としてグループホームや施設入所ならば検討が可能。
- 介護保険を利用できない人の支援・サービス等を地域で整えることで、高齢者の地域移行に結びつくことができると思われる。

厚木保健福祉事務所管内の現状と課題目指すべき方向性について

・ 後期高齢者の増加

要介護者の増加
看取りは家族の協力がないと難しい
在宅での死亡は変わらず、老人ホームでの看取りが増えている
介護度の高い高齢者は施設への傾向がある
→ 有料老人ホーム等での看取りが求められる

・ 医療と介護の連携は進んでいる

病院とケアマネの連携はスムーズになってきている
(ケアマネは病院と連携しやすくなった)
ケアマネの主治医への苦手意識は緩和されつつある
→ ケアマネの質の向上が求められる

・ 在宅医療は各地域で少しずつ進んでいる

退院支援加算により、在宅への移行がスムーズになってきている
訪問診療が微増し、訪問看護ステーションが増えた
在宅医療連携拠点は、在宅歯科医療連携室が整備され、
医科も在宅医療・介護連携支援センター(仮称)が整備される予定
→ 在宅医療の担い手等のさらなる充実が求められる

病院での死亡が
困難



自宅や施設での
看取りが増える



身近な地域での
受入れ体制の整備

目指すべき方向性

**「2025年を乗り切るための医療と介護の地域包括ケア
の体制整備の推進」**

2025年に向けて、身近な地域ごとの在宅医療・看取りの体制整備 各市町村と各医師会単位での地域包括ケアの推進

1 在宅医療と看取りの推進

在宅医療体制の充実
(医科、歯科、薬剤師、訪問看護)
ICT、在宅医療・介護連携支援セン
ター(仮称)の整備
看取りの訪問診療等の開始時期

2 施設看取りの充実

特別養護老人ホーム
有料老人ホーム
グループホーム

3 医療と介護の連携促進

小さい範囲での顔合わせの継続

4 住民への啓発

小さい単位での実施

各市町村、各医師会が協働しながら事業を推進

地域包括ケア・在宅医療推進会議によるサポート

(厚木保健福祉事務所)

令和元年度 厚木保健福祉事務所 地域包括ケア・在宅医療推進会議出席者名簿

	区分	団体・機関名	氏名	
			職名	氏名
1	医師会	厚木医師会	理事	野村 直樹
2		海老名市医師会	理事	内山 喜一郎
3		座間市医師会	医師(マザーホームクリニック院長)	松山 斉久
4	歯科医師会	厚木歯科医師会	地域医療委員会委員長	小笠原 貴幸
5		海老名市歯科医師会	理事	石井 良昌
6		座間市歯科医師会	理事	須藤 真行
7	地域医療支援病院	東名厚木病院	患者総合支援センター医療福祉相談室 課長	福田 美香
8		海老名総合病院	看護副部長	矢野 明美
9		厚木市立病院	患者支援センター長	森田 里美
10	居宅介護支援員団体	厚木医療福祉連絡会ケアマネジャー部会	役員	遠藤 貴子
11		えびなケアマネ連絡会	会長	白石 さとみ
12		ざま介護支援専門員協会	代表	増井 真理江
13	訪問看護ステーション団体	4市訪問看護ステーション連絡会	代表	滝澤 裕紀子
14	地域リハビリテーション団体	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	副会長	相川 浩一
15	高齢者福祉施設団体	神奈川県高齢協厚木愛甲地区福祉施設連絡会	代表理事	山本 喜徳
16	薬剤師会	厚木薬剤師会	薬剤師	曾根 智章
17		海老名市薬剤師会	薬剤師	小林 弘忠
18		座間市薬剤師会	薬剤師	吉永 耕子
19	栄養士	薬樹薬局厚木旭町店	管理栄養士	高橋 真由
20	市町村	厚木市福祉部福祉総務課	地域包括ケア推進担当課長	大野 徳一
21		海老名市保健福祉部地域包括ケア推進課	保健福祉部参事兼地域包括ケア推進課長	大島 みどり
22		座間市健康部介護保険課	課長	藤井 宏昌
23		座間市健康部医療課	課長	原 智穂
24		愛川町民生部高齢介護課	課長	高瀬 紀之
25		清川村保健福祉課	課長	平田 勝彦
26	保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	所長	長岡 正